

教科	国語	単元名	これは、なんでしょう
----	----	-----	------------

本時のねらい

・クイズにする物の特徴を捉え、クイズのヒントとしてふさわしい順番で組み立てることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・タブレットを活用することで、操作性のよさから問題作りへの意欲を高める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型モニター
- ・授業支援ソフト（オクリンク）
- ・タブレットPC

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<p>○めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『クイズにするもの かたちや、はたらきなどを かんがえよう。』</div> <p>○教員の例示したものに対するヒントとなる特徴を考える。 ・ヒントの順番が大切であることを確認する。</p>	<p>・大型モニターで操作手順を見せながら行うことで、児童がスムーズに学習活動をつかむことができるようにする。</p>
展開 (30分)	<p>○オクリンクのカードに、問題のヒントになる特徴をできるだけ多く記入する。</p> <p>○記入したカードを操作し、回答者がすぐに答えにたどり着かないような順番を相談し、考える。</p> <p>○早く出来上がったペアから問題を発表する。</p> <p>○本時のふりかえりを伝え合う。</p>	<p>・教員がカードの記入や、入れ替え操作を行う活動を大型モニターに映し出し、説明する。</p> <p>・オクリンクのカードを一枚ずつ提示することで、視覚支援となり、問題を読み上げるだけだと伝わりにくかったところが、より伝わりやすくなる。</p>
まとめ (5分)		

1人1台端末を活用した活動の様子



教室全体でヒントの順番を考えている場面



オクリンクを使ってクイズを作っている様子



大型モニターを使用して、作ったクイズを発表している様子

児童生徒の反応や変容

- ・オクリンクの機能は、クイズを出すことに適しており、「先生クイズ」を出したときには児童は大いに盛り上がり、意欲を高めることができた。
- ・自分で問題を作ることを知ると、どんな問題を作ろうかと、答えになる物を写真に撮るときから意欲的に活動していた。
- ・カードに問題の答えのヒントとなる文章を考えると、自分の撮った写真を何度も見返しながらか特徴（形や働き）を見つけようとしていた。
- ・手軽にヒントの順番を変更できるため、思いつくヒントをたくさん書き、その後カードの取捨選択をしたり、並べ替えをしたりしていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・カードに文を書くときは、ペンの太さやカードのマスを意識して書かせるように指導することで、他の人がカードを見たときに読みやすくなる。
- ・問題の作成には、児童によって個人差があるが、ボードをタッチするだけでどんどん新しいカードを作ることができるため、2問目3問目と作る児童もいた。そのことにより、指導の個別化を図ることができた。その間に文章を考えることが難しい児童に対して、個別の指導に回ることができるので時間をうまく使うことができた。
- ・児童がクイズ問題を作る過程において、もののかたちやはたらきを捉え、表現することができた。